

# 生ごみ処理機器利用者アンケート結果 についてお知らせします

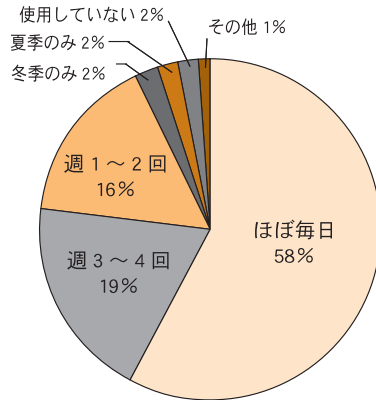
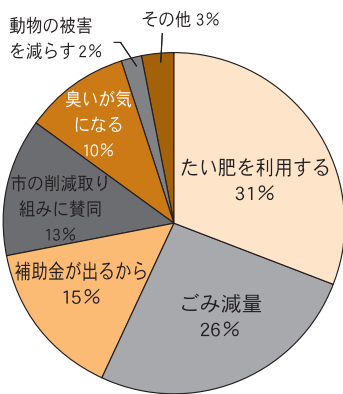


昨年度、家庭から集積所に出された燃えるごみ量は約1万6,300トンまで減少しましたが、約4割にあたる6,500トンが生ごみです。その生ごみの削減方法の一つとして家庭用生ごみ処理機器の普及を図るために、購入者に経費の一部を補助しています。このアンケートは、平成20・21年度に補助金制度を活用し、生ごみ処理機器を設置した248世帯を対象に実施したもので、アンケートの回答は173世帯、回答率は69%でした。実施したアンケート結果の一部を公表します。

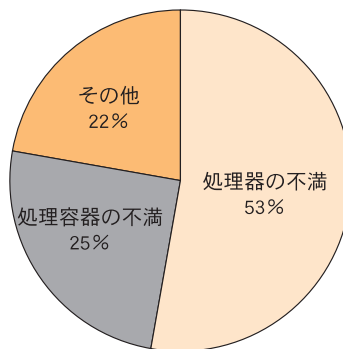
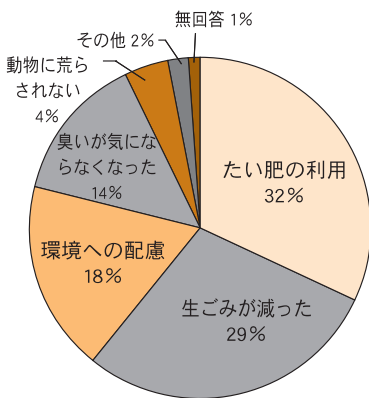
## ①設置している機種は？

機種	割合	機能
コンポスト容器	28%	庭や畑に置いて、土の中の微生物の働きにより生ごみを発酵・分解させます。
EM ぼかし容器	34%	有効微生物を使って生ごみを発酵・分解させます。
電気式・機械式生ごみ処理器	38%	生ごみを乾燥やたい肥として減量します。

## ②生ごみ処理容器・機器購入のきっかけは？ ③処理容器・機器の利用頻度は？



## ④処理容器・機器を使って良かった点は？ ⑤処理容器・機器の不満な点は？



牛久市では生ごみ処理容器・機器の購入(修繕)の方を対象に一部費用を補助金として交付しています！ぜひご利用ください。補助の内容は以下のとおりです。

生ごみ処理器 (電気式・機械式)	生ごみ処理容器 (コンポストなど)
購入価格の2分の1	購入価格の4分の3
1世帯当たり1基まで	1世帯あたり2基まで
補助金の上限は、1容器について2万円	補助金の上限は、1容器について1万円

※市内取扱店でお買い求めください。

◆設置された各処理機器は3割前後と均等ですが、安価な容器式は6割を占めています。◆購入のきっかけは、たい肥利用、ごみの減量、環境への配慮と環境問題への関心が見て取れます。◆利用頻度は93%の世帯が必ず週1日以上利用していて、まったく使用しない世帯は2%です。◆良い点では、「たい肥化の利用」「生ごみが減った」「環境に良い」と多くの世帯で満足感を感じています。◆電気式・機械式を使用している方からは「処理できる量が少ない」「電気代が掛かる」、コンポストなどの容器式を使用している方からは「虫が発生する」「たい肥がうまくできない」など、機器能力に対する不満と期待するたい肥ができないことが、不満の大きな要因となっています。

◆いろいろな処理容器・機器があり、それぞれ良い点や不満な点はあるようですが、どちらの処理容器・機器を使用する場合でも、ある程度手間を掛けることで良質なたい肥になります。

## 余った生ごみを

### たい肥に変えてみませんか？

先月号でもお伝えしましたが、市ではこの5年間で658世帯に生ごみ処理機器が設置され、その結果、年間で約150トンの生ごみが削減されたと試算しています。余った生ごみを自宅でたい肥にリサイクル。できたたい肥を使って「安全」で「おいしい野菜」や「きれいな草花」などを栽培する。皆さんも自宅での循環を目指してみませんか？